

## 平成27年度事業計画書

平成27年1月1日～平成27年12月31日

平成27年度事業計画について、定款に基づき下記の事業を行う。

### 1. 第25回日米草の根交流サミット2015・おおいた大会の開催

開催地: 大分県内各地

開催時期: 平成27年7月6日(月)から7月13日(月)

内容: 第25回日米草の根交流サミット大会を、大分県内各地において開催する。主催は、CIE、CIE-US、大分で結成された大会実行委員会。実行委員会の会長には大分県商工会議所連合会・会長の姫野清高氏が、また、顧問に広瀬勝貞知事、釘宮磐大分市長、浜田博別府市長が就任している。

オープニング式典は別府市内の杉乃井ホテル内を、クロージング式典は、大分市内のオアシス・タワー内を予定。アメリカからの参加者には、大分の温泉の体験と、血の池地獄、海地獄、坊主地獄の見学もしてもらう。これらを通して「おんせん県おおいた」を満喫してもらうとともに、大分の歴史・文化に触れる機会を提供する。また、地域分科会では、地元の方々との友情を育むプログラムを提供する。加えて、別府市内では、社会福祉施設「太陽の家」、および太陽の家と協働している企業、立命館アジア太平洋大学への訪問オプションも組み入れる。これに関連し、アメリカから障がいを持つ方々の参加も奨励する。

青少年の参加を促すためには、助成金申請を行い、高校生や大学生の参加を促す。具体的には、以下の2つのグループのための助成金を申請。

- ① テキサス大学ダラス校の学生。大会後には、高知大学で約1週間の授業を受け、後に東京で企業訪問をするという特別プログラム。このプログラムを通して、テキサス大学ダラス校と高知大学の協定締結を目指す。
- ② コロラド州グラナダのアマチ収容所保存会の高校生と大学生。2015年は、終戦70周年でもあることから、コロラド州グラナダで第二次世界大戦中に日系アメリカ人が収容されていたアマチ収容所の保存活動をしている高校生と、そのOB・OGの大学生に参加してもらい、プレゼンテーションをしてもらう。

他にも、音楽関連の青少年グループなど、できるだけ若い世代のグループでの参加を呼びかけていく。

大会中の地域分科会(ホームステイ・プログラム)は、以下の11市を予定。

- 大分市
- 臼杵市
- 津久見市
- 佐伯市
- 竹田市
- 日田市
- 中津市
- 宇佐市
- 豊後高田市
- 杵築市
- 別府市

アメリカからの渡航参加者は150人を目標とする。

大会後は、熊本、京都、福島でホームステイを含むポスト・サミット・オプション・プログラムも提供。これらは、地元の国際交流団体やボランティアとの協働プログラム。また、東京でのフリーのオプションも準備する。

## 2. 第26回日米草の根交流サミット大会の開催準備

開催地：未定（現在候補となる地域と協議中）

開催時期：平成28年9月中旬で検討中

内容：アメリカで開催する第26回大会について、候補地をできる限り早く決定し、準備を行なう。開催地決定や、開催準備にあたっては、現地の日本総領事館や外務省からの協力も仰いでいく。

また、開催が決定した地域で第26回大会を中心的に準備する方々の、大分大会への参加も奨励していく。

## 3. 情報の発信

### (1) ニュースレター「草の根通信」

27年度中に4回発行する。財団ウェブサイトに掲載するとともに、必要部数を製本して、会員、寄付者、次年度開催地の関係者、ボランティア等に配布。広報や活動報告としての機能も有したものとする。

### (2) 活動報告書(アニュアルアクティビティレポート)の刊行

内容：第24回サンディエゴ大会と、その他のH26年度中の活動報告

配布先：財団及び大会関係者、第25回、26回大会関係者

広報資料としても活用。

(3) 電子媒体

① ホームページ・アップデート

情報発信の手段として、ホームページを随時アップデート。また、現在のホームページは 2008 年から使用しているものであるため、改訂版について検討する。

② フェイスブックの利用

フェイスブックへの書込み回数を増やし、アクセス数の増加、およびフェイスブックを通じたアメリカ人の大会参加者獲得を目指す。

以上